

大学発ベンチャーの挑戦

60

トータルケア・システムは4月、福岡県大牟田市の大牟田エコタウンで使用済み紙おむつのリサイクル工場を本格稼働させた。福岡大学工学部の松藤康司教授の研究成果を活用し、医療機関から集めた使用済み紙おむつをパルプや土壌改良材として再資源化する。

高齢化の進展で紙おむつの需要は増しており、国内だけで年間100億枚が消費されているという。

ただ実際に汚物で汚れた個所は、紙おむつの一部分で「無駄が多い」(長

みつおむつ
使用済み紙おむつ

塩化カルシウムで高分子分解

パルプなどに再資源化

松藤教授に相談した。使用済み紙おむつを再生するには、排せつ物の水分を吸収する高分子の分解が課題だ。松藤教授は研究を進めていく中で、水分を含んだ高分子の表面に塩分を与えると、高分子内部の水分が表面

武志社長)。また使用済み紙おむつの多くは焼却処分されている。医療機関に試行錯誤を重ね、安全で安価な塩化カルシウム

に移動し、乾燥して粒状になることを発見。さら

社長は森林保護やゴミ減量の観点から、紙おむつを循環すべきだと考え、

汚泥、高分子が分離。この中からパルプを抽出し、洗浄・脱水工程などを

使用済み紙おむつのリサイクル工場



の開発を進める。すでに試作品は完成しており「パルプを安定生産できれば、紙おむつを飛躍できる」(同)という。また6月からは土壌改良材を使って綿花栽培も始めた。「市民と一緒に綿花を栽培し洋服などをつくれは、循環型社会の見本になる」(同)と意気込んで

(西部・敷田賢明)



▽本社 福岡市博多区、092・433・1033▽社長

勲率で操業している。今後は株主のユニ・チャームなどと、再資源化した

0万円▽従業員12人

パルプを用いた紙おむつ

トータルケア・システム



社長 武志 長

材として再利用する。

11月▽資本金1億200万円▽従業員12人

11月▽資本金1億200万円▽従業員12人

11月▽資本金1億200万円▽従業員12人